



令和8年度 枚方市立 氷室小学校 教育支援ルーム

ご案内



室内の様子

「ほっとルーム」とは？

学校や教室に入りづらい児童が、少しでも学校に行きやすくなるための「安心して過ごせる居場所」です。



安心できる居場所

(校内で安心して過ごし、人とのつながりを感じられる場)



落ち着いた学習環境

(自分のペースで自習や相談ができる場)



自立への支援

(ひとりひとりの目標や社会的自立をサポート)

専門家チームによる見守り体制



開室日：月曜日～金曜日
6限目まで

※日によって担当が変更する可能性があります。

入室までのステップ



ほっとルームでの活動と1日の流れ

1日の基本サイクル

荷物を置く

(教室、またはほっとルームへ)

計画を立てる

(計画表を記入しファイルへ)

下校のあいさつ

(帰宅前に担任の先生へあいさつ)

具体的な学習活動

学習支援:
オンライン授業、
プリント、学習
ドリルなど

個別支援
学習活動

個別支援:
図工、書写などの
作業を伴う科目



ほっとルームの使い方：自主性を育む

ほっとルームの使い方
落ち着いて過ごせる時間になるように、
自分で調整しながら過ごしましょう！

利用の流れ

1. 計画表を書く
2. 課題を準備する
3. 自己調整しながら過ごす
(※最低でも20分間は課題に取り組む)
4. 先生に取り組みの確認をしてもらう
5. 片付けをする
(ほっとルームから下校をする場合、必ず先生に声をかけること)

過ごし方
他にも利用する人がいる場合があります。
静かに落ち着いて、1人で過ごせるようにしましょう。

課題
できる限り教室と同じ教科の課題を担任の先生に聞いて取り組みます。
無い場合は、プリントやナビマなどの課題を選び、取り組みましょう。

環境
利用する人それぞれに机が仕切られています。
使い終わったら片付けをきちんとしましょう。

確認
利用した後は、自分が取り組んだことを担任の先生や見守りの先生に確認してもらいましょう。

自分で調整しながら過ごす
(最低20分間は課題に取り組む)

できる限り教室と同じ
課題か、プリント等の
課題を選ぶ

利用した後は、
取り組んだことを
先生に見てもらう

集団生活の場としてのルール

ほっとルームのきまり

ルール

【授業中】

- ①チャイム着席など、時間を守って行動する。
- ②うるさくしない。
- ③20分以上課題に静かに取り組む。
早く終わっても静かに自分でできることをする。

★自分でできること★

タイピング、自主学、お手伝い、読書 など



【休み時間】

- ①走り回らない
- ②物やボール等を投げて遊ばない。
- ③使ったものはきれいに片付けを行い、いつまでも使えるように
ていねいにあつかう。

※この部屋だけにある物はリフレッシュの時間（計画した課題が
終了後の残りの時間など）のみとする。

【その他】

- ①物の移動に勝手に行わない。
- ②掃除時間はほっとルームの掃除を行う。



授業中

✓ チャイム着席・
時間を守る

✓ うるさくしない

✓ 早く終わっても、
静かに自分でできる
こと（読書、タイピ
ングなど）をする

休み時間

✓ 走り回らない、
ボール等を投げない

✓ 使ったものは
きれいに片付ける

✓ ※原則、休み時間は
ほっとルームから
出て過ごす

ご家庭との連携・お願い



お子様の心境の変化により学校に居るのが困難な場合、お迎えをお願いすることがあります。



課題等（ドリル系など）を購入している場合は、学校へ持たせていただくようお願いいたします。



お子様の最適なサポートのため、面談等をお願いする場合がございます。ご都合をつけていただけれますと幸いです。

注意点 「部屋に一人以上の教職員がいるように担当を付けていますが、急な対応等（授業変更など）で担当が教室に行けない場合があります」

※「枚方市 不登校支援ガイド」など、詳しくは枚方市のHPも合わせてご覧ください。